



46年7月号

[第101号]

発行所

編集発行人

大分県日田郡中津江村

斎藤 隆一

開発・建設課を作る

機構改革で住民・社会は統合

村は行政の総合的な調整と、円滑化を推進し、執行体制を整える必要から、大幅な機構改革案をまとめ、去る六月四日の第三回臨時村議会に提案し、承認を得ました。本改革の要点は、村の総合的な企画力の強化と、村長が意図する村の重要な施策の強力な推進をねらって、開発課、建設課を独立させたことです。

このほか教育委員会の中に、専門の社会教育主事をおいて、公民館活動と併せて、社会教育に入ることになったことも今機構改革の特色といえましょう。これで村の行政機構は、従来の五課一室一委員会と数に変りはないが、業務内容においては大きく改革されることになりました。これに伴ない、役場の人心一新をはかるため、人事異動を行ない、適材適所に配置換え、課長以下二五人に発令をしました。

機構改革は、従来の産業課を二つに分け土木係を建

総務課

役場の総括的なことのほ

村民税等や国民健康保険税の課税や納税に関係する一切のことはこの課で処理

建設課

税の課税や納税に関係する一切のことはこの課で処理

設課に昇格、農林、商工観光係に、総務課に属してい

住民課

役場の総括的なことのほ

村民税等や国民健康保険税の課税や納税に関係する一切のことはこの課で処理

た企画、統計、広報係をまとめて開発課を新設、女子職員を窓口に配置し、住民サービスをモットに、福祉相互の関連事務を円滑にし、合理的な人員配置をするため、社会課、住民課を一課に統合しました。

また、村長は社会教育主

事の設置で、社会教育の向

上に主力を注ぎ、新しい村づくりに期待をしている。

課、係の組織、仕事のあ

らましは次のとおりであり

税務課

上に主力を注ぎ、新しい村づくりに期待をしている。

課、係の組織、仕事のあ

らましは次のとおりであり

は福祉係でおこなう。

最も重視している住民の福祉に力を入れ、住民の期待に添えるよう、老人、子供や衛生、簡易水道等に関係したものを保険衛生係で、

戸籍や配給等窓口事務全般を住民係、国民健康保険や衛生、簡易水道等に関係したものを保険衛生係で、

充実を目指として振興係が関することまで、道路網の充実を目指として振興係が

村道、林道の補修的なものから、道路および河川に

関することまで、道路網の充実を目指として振興係が

村道、林道の補修的なものから、道路および河川に

関することまで、道路網の充実を目指として振興係が

村道、林道の補修的なものから、道路および河川に

関することまで、道路網の充実を目指として振興係が

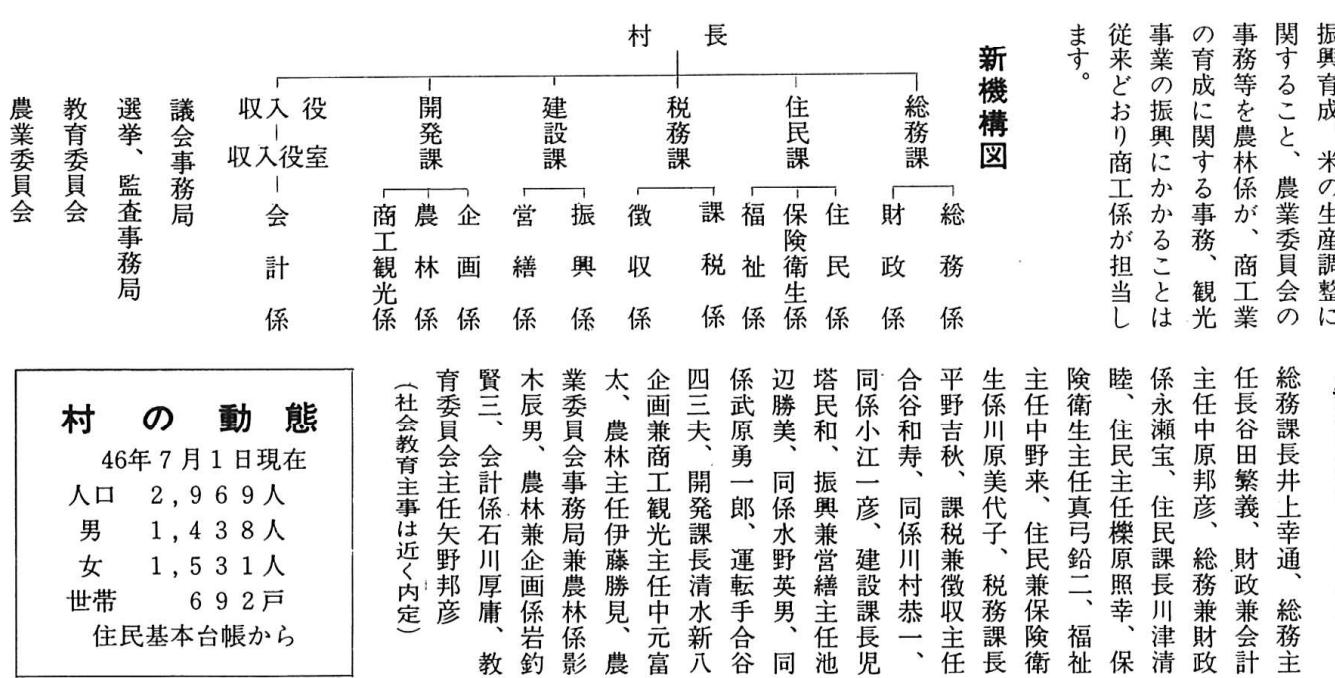
企画係が担当し、農林業の振興育成、米の生産調整に

関すること、農業委員会の事務等を農林係が、商工業の育成に関する事務、観光事業の振興にかかることは

従来どおり商工係が担当します。

異動は次のとおりです。

新機構図



酒呑童子に キヤンプ場

中川内林道を部落から一キロメートル上ると、右に分岐された私設道（観光道路）があり、再に約一キロメートル進むと、酒呑童子登山入口、そこにいま、自然公園の造成事業が着々と進められていますので紹介いたします。

雲峰酒呑童子をとりまく山また山につづく峰づたいここは地名を「経塚」という自然の絶景を備えた山麓であります。

二つの溪流に双方からはさまれたうつそうたる森を中心には、一連の山峰と大自然をそのまま生した自然公

観光中津江にこんなところが

ガ、モミ、ホウノ木、櫻、ヨシブ等の大木の間をそこかしこと桜、椿、シャクナゲ、ドウダンツツジ等の花

が、モミ、ホウノ木、櫻、ヨシブ等の大木の間をそこかしこと桜、椿、シャクナゲ、ドウダンツツジ等の花

が、モミ、ホウノ木、櫻、ヨシブ等の大木の間をそこかしこと桜、椿、シャクナゲ、ドウダンツツジ等の花

が、モミ、ホウノ木、櫻、ヨシブ等の大木の間をそこかしこと桜、椿、シャクナゲ、ドウダンツツジ等の花

が、モミ、ホウノ木、櫻、ヨシブ等の大木の間をそこかしこと桜、椿、シャクナゲ、ドウダンツツジ等の花

が、モミ、ホウノ木、櫻、ヨシブ等の大木の間をそこかしこと桜、椿、シャクナゲ、ドウダンツツジ等の花

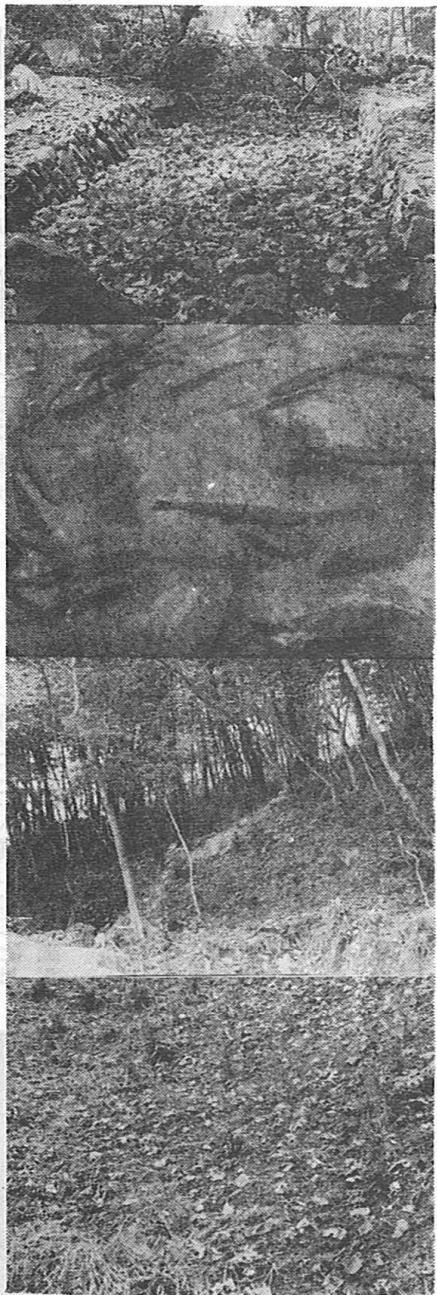
が、モミ、ホウノ木、櫻、ヨシブ等の大木の間をそこかしこと桜、椿、シャクナゲ、ドウダンツツジ等の花

が、モミ、ホウノ木、櫻、ヨシブ等の大木の間をそこかしこと桜、椿、シャクナゲ、ドウダンツツジ等の花

が、モミ、ホウノ木、櫻、ヨシブ等の大木の間をそこかしこと桜、椿、シャクナゲ、ドウダンツツジ等の花

魚池が十五、六槽連なって

牛島さんは公園内にワサビ田五アール程度の築田を

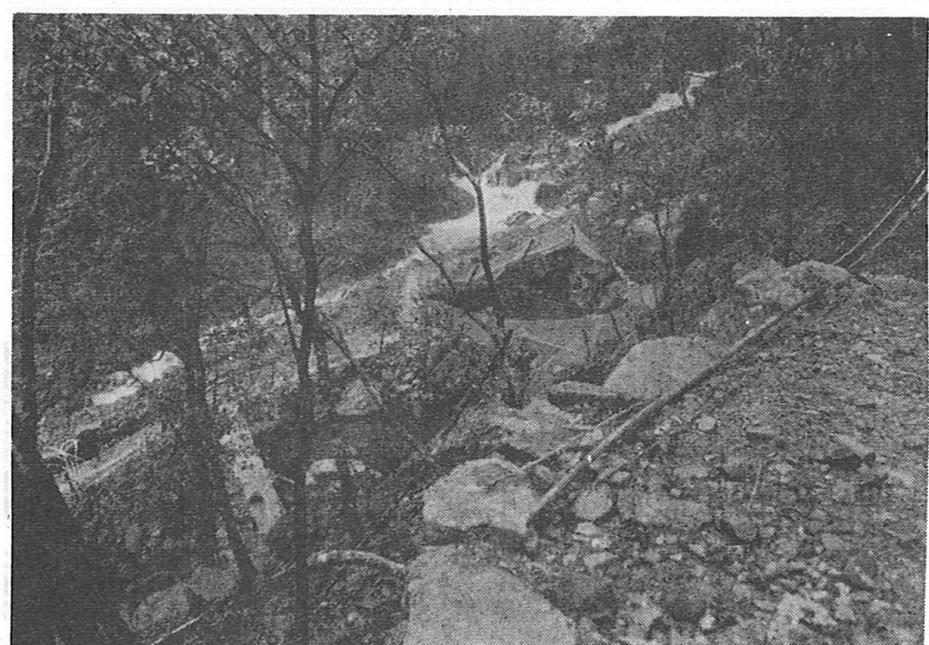


(ワサビ田)

(池に泳ぐマス)

(イノシシの放し飼い)

(山菜のフキ)



(エノハヤマスの養魚池)

園に仕立てあげ、津江山景
観光開発の一環ともなれば、
事業主の牛島寿太郎さん
ははりきっている。

公園の森は数十年を経た
と思われる無数の雑木が生
い繁っていて、モミジ、ト
ケン等と育ったワサビ田も作
られた。

これから計画の中には
将来はイグ、鮎などを加え
フキ三千本、うど一千本を
植えること。山菜の味
また養魚池の列中には、
青々と育ったワサビ田も作
られた。

夏には渓谷を流れる冷
流れに「ソーメン」を浮べ
しいたけで味を出した「す
し」としてこの森の木陰に、
牛島さんは公園内にワサ
ビ田五アール程度の築田を
いた。

「いのしし」は柄原の森
友さんところからの養子縁
組の話がまとまっていると
いふ。

め」に新鮮なワサビをきか
し、想像しただけでも一度
達がたわむれ、まさに小さ
な動物園を思わせ、面白い。
は行ってみたい感じになる。

このように大自然を生し
てできた公園を「酒呑童子
キャンプ場」と命名し、近く
駐車場、展望台は勿論設置
される。

開場される予定です。

ご期待下さい。

中体連陸上四連覇

中津江中が総合で優勝

第一回日田郡中学陸上

湧きに湧いた。

大会は、五月二十六日、七校三百二十名の選手が参加し、五馬中グラウンドに於いて熱戦が展開された。幸い当日は雨もあがり絶好の天気にめぐまれ、好記録が続出、中津江中の連覇をはばもうと猛烈に追いあげる東溪中と、必勝の執念



幸い当日は雨もあがり絶好の天気にめぐまれ、好記録が続出、中津江中の連覇をはばもうと猛烈に追いあげる東溪中と、必勝の執念

をねらう五馬中、前津江中上津江中、会場は総立で熱氣のるつぼと化し、結局中津江中が東溪中に、八点の少差で優勝し、四年連続の偉業をなしとげ、併せて三年連続、敢闘賞も獲得した。

勝因は「選手の自主的、計画的練習と、全職員のチ

ームワークにて、早く校内予選を開き、選手指導に力を入れたこと」であろう。

記録面では、特に一〇〇m、二〇〇mの二種に優勝した児塔悦代選手（二年）

三年連続三〇〇mに優勝の長谷部久男選手（三年）

二〇〇m優勝の高木輝美選手（三年）、二〇〇m、八〇〇mに新記録で優勝した池部今朝行選手（二年）の

各種目決勝が終る毎に、成績順位が入れかわり、最後を飾る女子四〇〇mリレー

となり、総合優勝に結びつ

一方鯛生中学校で行なわ

いた。全選手の半数以上が三位までに入賞したことは、選手層の厚いことが立証される。

本校は生徒数、グラウン

ド

にても、決して恵まれて

いる訳ではないが、練習や

努力によって、この様な好

成績があげられるることは、

生徒に大きな自信を与え、

他の球技、格技及び学業成

績に、よい結果の現れるこ

とは確信している。

限りなき前進を

続けよう中津江中学校!!

保険税と医療費

必要とする給付はかならず受けられます。つまり、かけ金の方は収入に応じて可能な範囲で払い、事

でも、またどんなに予防対策がじゅうぶんにおこなわれても、病気というものを完全にこの世から追放するのはむずかしいでしょう。すると、健

康保険の本来の目的はやはり、病気になつたときは、治療に加入して翌月病気になつても、十年間保険税を払つている人

が行なわれましたが、この種の中でも、野球と剣道は優勝し、バレー・ボーリーが二位に入賞の栄冠に輝きました。

剣道部の健闘は高くて、見えられます。



陸上優勝者

陸上にひき続き、各会場に分れて球技や格技の大会が行なわれましたが、この種の中でも、野球と剣道は優勝し、バレー・ボーリーが二位に入賞の栄冠に輝きました。

日田市大原グラウンドで一年（二百米）壁村 利恵二年（百米）児塔 悅代（一百米）池部今朝行（二百米）児塔 悅代（八百米）池部今朝行

三年（二百米）高木 輝美（三千米）長谷部久男

国民年金保険制度

皆さん納められてる保険料を出して、お互いに助けあおうといふのは出産、死亡などのケガのとき、あ

るにあたります。

お医者さんの窓口で支払う分が三割ですから、残り四割強が国の補助金となつてゐるものですね。

医療費が高くなれば、それだけ保険税の税率があがり税額も高くなりま

す。

なに医療費がかかつても、（次号は被保険者の資格）

